

地域だより No.37

協会の沿革

菰野町は、三重県の北西部に位置し西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接しています。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットになっています。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉は、平成30年に開湯1300年を迎え歴史の浪漫が漂う豊かな観光資源と食、文化拠点として更なる発展を目指しております。

また、雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす深谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい町であります。

菰野町防火協会は、昭和62年4月に防火思想の普及宣伝並びに消防施設の強化及び防火対象物の火災予防を推進し、会員相互の連携協調を図ると共に、町民の福祉の増進に寄与することを目的として設立されました。

会員は、菰野町内で事業を展開する宿泊施設、一般事業所、石油商業組合、LPガス協会の169事業所から構成されており、町民の安全安心な暮らしを実現するための各種事業に取り組んでいます。

主な事業

- 毎年実施される菰野町文化祭において消防広場を開催し、住宅用火災警報器をはじめとする防災物品の展示により、同警報器の設置促進と、防火意識の高揚を図っています。
- 火災予防教育の一環として、町内の保育園、幼稚園の園児及び小学校の児童を対象に消防自動車写生大会の開催及び防火習字の募集を行い、幼少期からの防火意識の定着を目指しています。
- 防火だよりを年間2回発行し、当協会のイベント、消防本部、消防団の訓練、火災予防対策に関して調査研究した結果などを掲載し全戸に配布しています。
- 火災実験装置や消火訓練装置、訓練用消火器等を購入し、町内の事業所、自治会等の消防訓練をはじめ、小学生の社会見学の際に活用し火災予防啓発を行っています。
- 防火広報用のポスター、防火カレンダー、のぼり旗、横断幕等を掲出し春秋の火災予防運動、危険物安全週間等を捉え火災予防啓発と住宅用火災警報器の設置促進を図っています。

菰野町防火協会の巻

また、かもしかハーフマラソン及び町民駅伝大会のゴールテープ、駅伝用タスキを作成しスポーツイベントを通じて山火事防止の広報を実施しています。

功績

平成19年に当時の伊藤協会長が、安全功労者消防庁長官表彰、平成24年には当時の三枝副会長が、全国危険物安全協会理事長表彰を受賞されました。

今後の抱負

当協会の目的である「防火思想の普及宣伝並びに消防施設の強化及び防火対象物の火災予防を推進する」ため、引き続き各会員が連携し消防本部と協力しながら積極的に事業を進めていきます。

また、新名神高速道路、国道477号バイパス、国道477号と湯の山温泉街を結ぶ湯の山かもしか大橋などの供用開始を間近に控え、道路ネットワークの充実により多くの観光客が見込まれることから、当協会としても豊かな自然をはじめとしたあらゆる地域資源と全ての産業が一体となった魅力ある菰野町を「火災予防」「防火」という側面から支えていきたいと考えております。



消防車両写生大会の様子



菰野町民駅伝でのゴールテープ